

	来庁グループ ◎発表者		ZOOMグループ1 ◎発表者	
	委員氏名(敬称略)	所属	委員氏名(敬称略)	所属
	竹内 修	竹内医院	三枝 奈芳紀	三枝病院
	川口 哲也	東病院	田中 計	たなかハートクリニック
	宮野 京子◎	たんぽぽ薬局	大島 拓二郎	大塚薬局 湊店
	土屋 礼江	君津中央病院大佐和分院	古堀 真由美◎	介護老人保健施設わかくさ
	夏目 剛志	君津中央病院大佐和分院		
	池田 剛和	富津市介護福祉課		
協議事項シート	作成したことがあるか 受領したことがあるか	改善してほしい箇所等のご意見	作成したことがあるか 受領したことがあるか	改善してほしい箇所等のご意見
君津圏域医療・ 介護多職種連携・ エチケット集	・あまり活用されていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネとのやり取りは、口頭または電話で行っている。ICTの利用もない。 ・以前から四市で使用していたもの（簡易的なもの）がよい（様式名等は不明）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見たことはあるが用いたことはない。 ・受領したことはほぼない。 	
千葉県地域生活 連携シート	・あまり活用されていない	<ul style="list-style-type: none"> ・（対象者が）本当に薬を飲んでいるのか、誰に確認すればよいか不明。ゴミ箱に捨ててしまうことも多い。 ・（処方時や服薬時、持ち帰り時に）誰かしら立ち会ってほしい。ケアマネがいない人は、包括に（立ち会いを）依頼したい。 ・服薬状況について、医師は薬の処方をするが、退院後に誰が薬を管理してくれているかが分からない。それがシートで分かるとよい。 ・記載項目が多い。認定調査と同じような項目も多い。 ・（医療機関としては）要介護度のある人、ケアマネがついている人は送ってきてほしい。 ・ケアマネにより、作成してくれる人とそうでない人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護やケアマネとのやり取りの中で、指示書と同じような形なので、活用したことがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・細かすぎる。すべて埋めるのが大変。時間がかかる。 ・他の資料にあるものと重複しているものは書く必要がないのでは。 ・都会と違って（富津市は）顔見知りの関係ができているので、メリハリをつけて簡潔にする必要があるのでは。
オレンジ連携シート	・あまり活用されていない			

	ZOOMグループ2 ◎発表者		ZOOMグループ3 ◎発表者	
	委員氏名(敬称略)	所属	委員氏名(敬称略)	所属
	水町 裕義	水町歯科医院	細井 尚人	袖ヶ浦さつき台病院
	秋川 裕康◎	セントケア富津	熊切 篤	熊切歯科医院
	有江 直樹	つつじ苑居宅介護支援事業所	尾崎 睦子	富津地区地域包括支援センター
	早川 清子	セントケア富津	藤野 雅一◎	天羽地区地域包括支援センター
協議事項 シート	作成したことがあるか 受領したことがあるか	改善してほしい箇所等のご意見	作成したことがあるか 受領したことがあるか	改善してほしい箇所等のご意見
君津圏域医療 エチケツト集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知ってはいるが使って いない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仰々しくて使用しづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成したことも受領し たこともない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (ケアマネが) 病院受診に同行した際に医師と話すような手法が取 られている。 ・ (シート全体として) 紙ベースではなく、ICT化を進める必要性があ るのでは。
千葉県地域生活 連携シート	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネは入院時に必 ず使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知りたい情報が網羅されているので、良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 君津中央病院への入退 院の際、包括は頻回に 使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容が細かく、埋めるのが大変。 ・ 入院の段階で退院の方向性を決め、3日以内に(千葉県地域生活連携 シート)を(医療機関へ)提出する必要がある。3日間というのは厳し いが、短期間でやるべきとは考えている。 ・ 包括は活用しているが、予防(介護予防ケアマネジメント)の中 では(報酬の)加算がなく、整合性はどうか。
オレンジ連携 シート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 袖ヶ浦さつき台病院、 認知症疾患医療センター への受診の際、作成した ことがある。 ・ 市からの情報提供で受 け取ったことある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症疾患医療センター以外で必要とされていないのが現状ではな いか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 袖ヶ浦さつき台病院と のやり取りで活用してい る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護報酬も医療報酬も加算がなく、普及がなかなか促進されていな いというのが厳しい現状と、医師からの指摘あり。 ・ 項目が多く、記入が大変 ・ 包括としても、急な認知症や精神疾患の増悪に伴い、対象者をよく 知らない状況で「オレンジ連携シート」を記入せざるを得ないことが ある。それに対し、医師としては、その段階で分かり得ることのみ記 入していただければよいとの意見あり。

		ZOOMグループ4 ◎発表者		グループワーク後の全体の意見
		委員氏名(敬称略)	所属	
		丸 尚子	丸薬局	
		牧 達人	介護老人保健施設わかき	
		和泉 喜章	いずみ福祉サービス	
		三枝 裕文◎	大佐和地区地域包括支援センター	
協議事項 シート	作成したことがあるか 受領したことがあるか	改善してほしい箇所等のご意見	各シートを普及させるためのアイデア等のご意見	
君津圏域医療 エチケツト集 介護多職種連携	・作成、受領ともない。	・ケアマネとしては、受診同行時に医師に伺うことが多いのが現状。	<p><細井委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津では、医療と介護の顔の見える関係性ができているので、形式的なものはあまり必要はないのではと思っている。 	
千葉県地域生活 連携シート	・ケアマネは作成したことがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務が多いなかで作るのが大変。 ・気になることを特記として書けば、分かりやすくなるかもしれない。コロナ禍で（ケアマネが本人と）会うことができないので、入院中で気になることなど（本人について）気を付けるべき点が分かる（ケアマネは）良い。 	<p><細井委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬、介護報酬に反映されているので、シートがなくなることはないのではないか。 ・リハ職の方がつくったと記憶している。細かいこと（の記入を）要求されている。返ってくる情報もリハビリに関する細かいことが多いので、介護職が活用するのは大変ではないか。 <p><有江委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネは入院時にA票を提出するが、退院時にB票をいただく事案がほとんどないのが現状。退院時は、退院しましたという連絡が多い。 <p><三枝会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬が低いから活用されていないのかもしれない。 <p>→※報酬については、「千葉県地域生活連携シートの手引き」3頁及び4頁に明記あり。別紙参照ください。</p> <p><細井委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾患によるが、脳卒中や骨折だと回復期に転院したり、入口と出口が一緒ではないのが、理由ではないかと思う。 	
オレンジ連携シート	・袖ヶ浦さつき台病院への受診の際に使用したことがある。	・医師との意見交換ができるので、良い	<p><細井委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及させるためには、介護報酬や診療報酬に反映されればよいが、それがないので、普及は難しいかと思う。 ・思い出したときに、（ケアマネが）聞いたことなどを書いていただければありがたい。 	